

家屋害虫？

平成21年6月15日に「家屋害虫ではないか？」との相談が2件続ててありました。一つは、テレビのコマーシャルでも頻繁に放映されている賃貸住宅をあっせんする住宅関連会社からです。新築の住宅の入居者から「居室から虫が出た。建材から発生したのではないか。」との相談があり、衛生公害研究所に虫を持参されました。依頼された虫を鑑別したところコクヌストモドキでした。「木材から発生する虫ではありません。食品、特に粉状の穀物から発生する虫です。住宅の中に保存食品などがないか調べられたらいかがでしょうか。」と説明しました。

もう一つは、住宅のリフォームを行う会社からの相談です。リフォームを行った住宅の入居者から「居室に虫が出た。リフォームに使った木材から発生したのではないか。」との相談を受けて、衛生公害研究所に虫を持参されました。種類は、ジンサンシバンムシでした。「ジンサンシバンムシは、建材を加害することはありません。幼虫は、乾燥した動植物質を加害します。住宅内を調べられたら原因が分りますよ。」と説明しました。

いずれも、食品類を加害する虫達が木材（建材）害虫に間違えられた事例でした。衛生公害研究所に相談されることによって、問題解決に近付けたと、自負しています。

ジンサンシバンムシ

ジンサンシバンムシは、シバンムシ科の種類です。シバンムシ科は、頭部が上から見ても、胸部の下に隠れ、見えないこと、触角が糸状ではないこと、後脚の基節（脚の根元）に腿（たい）節が収納できる溝があることなどの特徴があります。また、ジンサンシバンムシの特徴の一つは、触角です。先端の3節が非常に大きいことです。また、前翅（ぜんし）に点状のくぼみが整列しているのも特徴の一つです。

人参死番虫

漢字でジンサンシバンムシを表すと、人参死番虫と表します。死番虫の意味は、「衛生動物だより第87号」で説明しました。人参の意味は、言うまでもなく、ニンジンです。人参をあえて、ジンサンと呼んでいるようです。恐らく、この人参は、高麗（こうらい）人参のことだと思います。また、ジンサンシバンムシは、クスリヤナカセと呼ばれることがあります。漢方薬を扱っている薬局では、ジンサンシバンムシが発生すると、高価な高麗人参を初め、多くの動植物質の漢方薬を食害されてしまいます。そのため、大きな損害を被ることがあります。このことから、クスリヤナカセとの呼び名が付いたのでしょう。

今回の事例での問題点

「普通、幼虫は、主に乾燥した植物質を加害します。また、動物質も加害することがあります。」と説明したところ、「リフォームされた住宅の居住者は、住宅内で料理されていません。そのため、食品を保存されていません。思い当たる発生源は、考えられません。」と相談者が力説されました。また、検査依頼があったジンサンシバンムシは、大量でした。屋外から偶発的に進入したとは、考えにくく、発生源は、リフォームされた住宅内にあると思われました。こうしたことから、少し大胆ですが、次のような説明を行いました。「ネズミの死骸（しがい）が発生源になっている事例の報告があります。天井裏でネズミが死に、腐敗することなく乾燥し、それを餌にジンサンシバンムシが発生したかも知れません。一度、天井裏を調べられたらいかがでしょうか。」と説明しました。しかし、残念ながら被害宅は、京都市外であるために発生源を確認できませんでした。

